

健康経営

実践企業に学ぶ

23

創業以来、70年にわたり奈良の地場産業である履物（サンダル・草履）を中心に、さまざまな商品を展開しているサカガワ。

オリジナルブランドの「大和工房」は、素材、デザインにこだわった「雪駄（せった）」を世界に発信する。また、足裏反射区を刺激するフットベッド構造を採用したルーム雪駄や天空サンダルといった日常の健康に配慮した製品をリリースするなど、伝統をアップデートしながらニーズに応



阪川隆信
社長

サカガワ

え、躍進し続ける。

「健康に対する意識改革、改めて自分の健康状態を知ることが大事だ」と話す阪川社長。自身が2020〜23年に大腸の病気で4回にわたり入院を繰り返したことから知人の勧めもあり、健康経営に取り組み始めた。

阪川社長をはじめ、従業員が健康意識を改革し、25年、26年と2年連続で健康経営優良法人の認定を受けた。

社員の健康を守るためにも年1回の健診はもちろん、20年前から生命、傷害などをカバーする会社加入の保険に全従業員を加入させているという。

「万が一がをした場合でも全て保険でまかなわれるため、従業員とご家族の安心にもつながる」と阪川社長。

足つばを刺激する構造でリフレクソロジー効果を生む「ルーム雪駄」



会社概要

- 所在地/北葛城郡上牧町3439-16
- 電話/0745 (76) 8835
- 創業/1957年4月
- 事業内容/フットウェア商品企画・輸出入・製造・販売

エアコンや空気清浄機を設置し、禁煙にしたという。

「食堂でのランチタイムには従業員同士の会話が弾んでいる」と阪川社長。協会けんぽの健康啓発ポスターの掲示など、常に健康を意識し、改善する環境づくりに挑む同社では、禁煙に成功する従業員も出てきた。

コロナ禍の巣こもり時期に開発された足つばを刺激する室内用健康雪駄やスポーツブランドとのコラボレーションなど、人々の生活スタイルや健康に寄り添った履物を展開し続ける。

従業員数11人という少数精鋭で業務を行う同社では、1人でも急な欠勤などがあると影響が大きいという。その状況に対応するため、常に従業員同士のコミュニケーションを

健康で安全に働き、円滑なコミュニケーションが生まれる環境づくりのためにも、通常業務部屋以外にも、全室、

健康・健全な企業であり続ける

健康講座など、学習機会を設けてステップアップし、長く勤めることができる会社を目指し、「これからも皆さまのニーズに添えていきたい。そのためには健康な従業員が活躍する健全な企業であり続けたい」と阪川社長は意気込む。